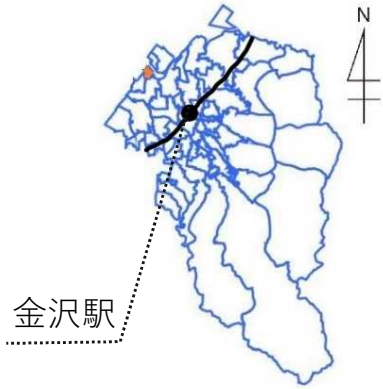


大野町校区

国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



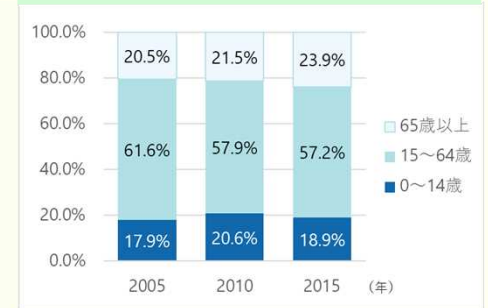
1 人口・世帯数



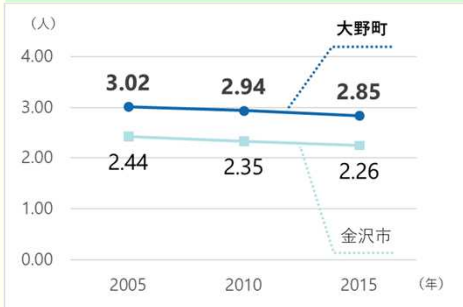
2 年齢3区分別人口



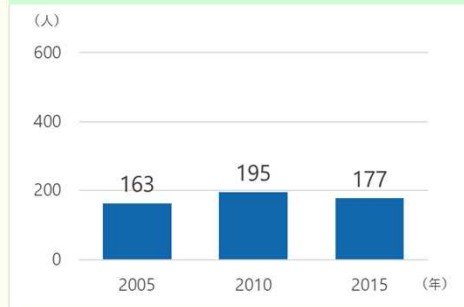
3 年齢3区分別人口割合



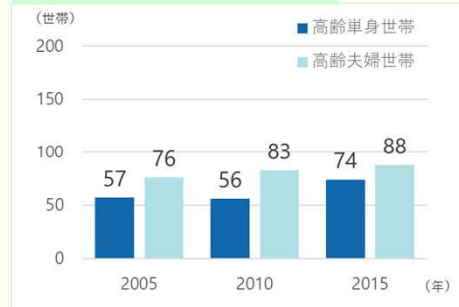
4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



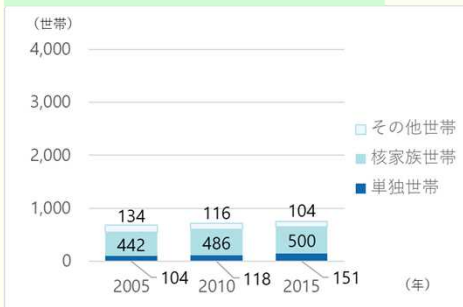
6 高齢世帯数



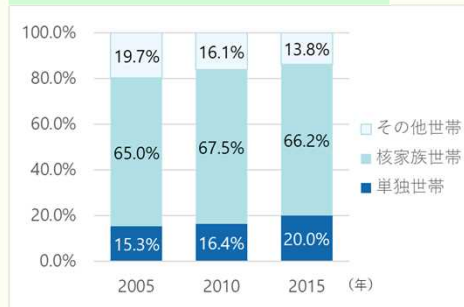
7 住宅の建て方割合



8 家族類型



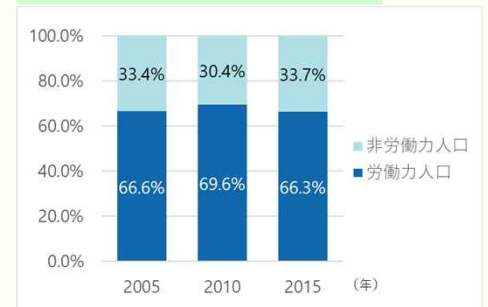
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

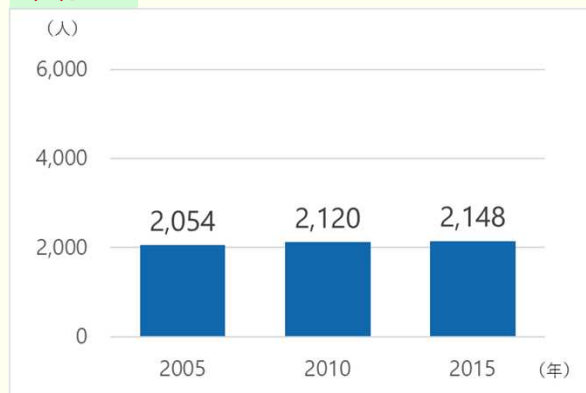
I 概要 人口 2,148人 2010年に比べ+28人

2015年国勢調査による10月1日現在の**大野町校区**の人口は2,148人で、2010年に比べ+28人となっている。
世帯数は755世帯で、2010年に比べ+35世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.85人で、2010年に比べ▲0.09人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

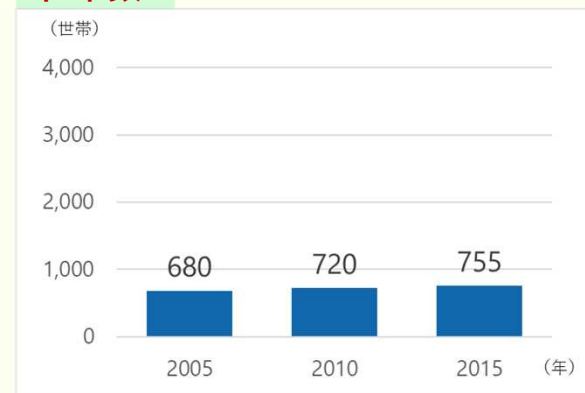
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	2,054	—	—	969	1,085	680	—	—	3.02
2010	2,120	66	3.2%	1,010	1,110	720	40	5.9%	2.94
2015	2,148	28	1.3%	1,005	1,143	755	35	4.9%	2.85

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

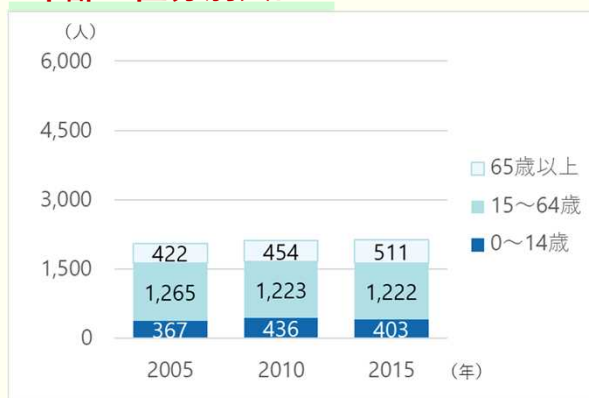
年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は403人、15～64歳人口は1,222人、65歳以上人口は511人で、構成比はそれぞれ18.9%、57.2%、23.9%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲33人[▲7.6%]、15～64歳人口は▲1人[▲0.1%]、65歳以上人口は+57人[+12.6%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口の構成比は2010年から2015年にかけて減少に転じている。一方、15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

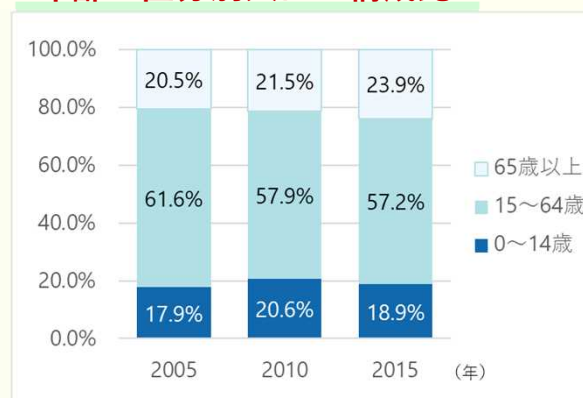
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	2,054	367	1,265	422	100%	17.9%	61.6%	20.5%	—	—	—	—
2010	2,120	436	1,223	454	100%	20.6%	57.9%	21.5%	3.2%	18.8%	▲3.3%	7.6%
2015	2,148	403	1,222	511	100%	18.9%	57.2%	23.9%	1.3%	▲7.6%	▲0.1%	12.6%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 単身者、2人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は755世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+5.9%、2015年が+4.9%と一貫して増加し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人世帯、2人世帯、6人世帯が増加している一方、3人～5人世帯、7人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、2人世帯が28.6%と最も大きく、次いで1人世帯が20.0%、3人世帯が19.1%となっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	680	104	188	141	150	53	27	17
	2010	720	118	206	153	141	67	19	16
	2015	755	151	216	144	140	66	24	14
構成比	2005	100%	15.3%	27.6%	20.7%	22.1%	7.8%	4.0%	2.5%
	2010	100%	16.4%	28.6%	21.3%	19.6%	9.3%	2.6%	2.2%
	2015	100%	20.0%	28.6%	19.1%	18.5%	8.7%	3.2%	1.9%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	5.9%	13.5%	9.6%	8.5%	▲6.0%	26.4%	▲29.6%	▲5.9%
	2015	4.9%	28.0%	4.9%	▲5.9%	▲0.7%	▲1.5%	26.3%	▲12.5%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は500世帯と、一般世帯の66.2%を占めており、2010年に比べ+14世帯[+2.9%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は151世帯で、2010年に比べ+33世帯[+28.0%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	680	104	442	134
	2010	720	118	486	116
	2015	755	151	500	104
構成比	2005	100%	15.3%	65.0%	19.7%
	2010	100%	16.4%	67.5%	16.1%
	2015	100%	20.0%	66.2%	13.8%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	5.9%	13.5%	10.0%	▲13.4%
	2015	4.9%	28.0%	2.9%	▲10.3%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は74世帯で、2010年に比べ+18世帯[+32.1%]であり、一般世帯の9.8%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は88世帯で、2010年に比べ+5世帯[+6.0%]であり、一般世帯の11.7%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	680	57	8.4%	—	76	11.2%	—
2010	720	56	7.8%	▲1.8%	83	11.5%	9.2%
2015	755	74	9.8%	32.1%	88	11.7%	6.0%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 持ち家に住む世帯が増加

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、566世帯[構成比76.4%]と全体の約8割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が+5.4%、持ち家以外に住む世帯が▲0.6%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	673	508	165
	2010	713	537	176
	2015	741	566	175
構成比	2005	100%	75.5%	24.5%
	2010	100%	75.3%	24.7%
	2015	100%	76.4%	23.6%
増減率	2005	—	—	—
	2010	5.9%	5.7%	6.7%
	2015	3.9%	5.4%	▲0.6%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が573世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の77.3%を占めている。以下、共同住宅に住む世帯が168世帯[構成比22.7%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が+27世帯[+4.9%]、共同住宅に住む世帯が+6世帯[+3.7%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	673	516	153	4
	2010	713	546	162	5
	2015	741	573	168	0
構成比	2005	100%	76.7%	22.7%	0.6%
	2010	100%	76.6%	22.7%	0.7%
	2015	100%	77.3%	22.7%	0.0%
増減率	2005	-	-	-	-
	2010	5.9%	5.8%	5.9%	25.0%
	2015	3.9%	4.9%	3.7%	▲100.0%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は1,733人で、2010年に比べ+56人[+3.3%]となっている。労働力人口は1,063人で、2010年に比べ▲28人[▲2.6%]、非労働力人口は541人で、2010年に比べ+65人[+13.7%]となっている。労働力率は61.3%で、2010年に比べ▲3.7ポイントとなっている。

男性の労働力人口が減少している一方、女性の労働力人口は増加している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	1,687	793	894	1,097	601	496	551	166	385
	2010	1,677	778	899	1,091	587	504	476	143	333
	2015	1,733	794	939	1,063	540	523	541	195	346
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲10	▲15	5	▲6	▲14	8	▲75	▲23	▲52
	2015	56	16	40	▲28	▲47	19	65	52	13
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲0.6%	▲1.9%	0.6%	▲0.5%	▲2.3%	1.6%	▲13.6%	▲13.9%	▲13.5%
	2015	3.3%	2.1%	4.4%	▲2.6%	▲8.0%	3.8%	13.7%	36.4%	3.9%

労働力率		
総数	男	女
65.0%	75.8%	55.5%
65.1%	75.4%	56.1%
61.3%	68.0%	55.7%
-	-	-
0.0	▲0.3	0.6
▲3.7	▲7.4	▲0.4

※増減の単位は[ポイント]
 ※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口
 労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口
 労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。